

ほっぷ・ステップ・Jump!

(保っ父)

2000.12 XX Vol.46 発行 北海道の子どもと保父の会

～ 巻頭言 ～

みなさんお久しぶりでございます。夏や行事におされてしまい、活動がストップしてしまいました。原稿をくださったみなさま、とっても申し訳ございません。

さて、月も12月となり、なにかといそがしいのですが、私めは、いいますと発表会も終わり、ホッと一息。そして引越も、落ちついてホッと一息。一息ぱっかりついています。家で、いそがしくて見ていなかった映画をビデオ屋に行って、義務感にかられつつ、あれこれと見ております。その中でも良かったのが、「YEAR OF THE HORSE」という作品。若い人にはそれほどなじみはないのですが、むかしむかし(今も生きてるんだけど)ニールヤングという方がいまして、まあ、その人のバンド“CRAZY HORSE”というのがあり、インタビューがあったり、ライブがあったりする、ドキュメンタリーのような映画です。そのバンドというのは30年位ち〜っと同じメンバー(途中、死んだメンバーもいたりするので入れ替わりはある)4人でやりつづけています。すごい売れている頃は、代表的な曲もたくさんあり、メンバーも若々しく、カッコいいのですが、現在の姿は、ニールヤングはハゲて落ち武者のようだし、他のメンバーもあやしげなおじさん(おじいさん?)になって、けっしてカッコよくないのですが、話を聴いたり、何よりもライブをしている時の姿といったら、たまらんですヨ。音楽は技術じゃないんだ、魂のぶつかり合いなんだというのがピシピシ伝わってきて、涙がでそうです。J・POPだかなんだかしらないけど、日本のミュージシャンのほとんどが、魂がなさすぎる————!と痛感してしまいます。(まあ日本だけじゃないんだけどね)テレビや映像むけに、ハデにうごいてみたり妙な服をきたりしなくたっていいじゃない。おっさん方は、ポロTシャツに、ポロジーンズ(こっちも妙といえば妙なだけけど)でも表現することは唯一音楽だけ、それしかないのです。カッコいいぞ。興味のある方はどうぞ。どのビデオ屋にいても、まず貸出中ということは、ないでしょう。だって、だれも借りないよ～。なのこっちゃん、って感の人が多いもの。最近音楽映画がけっこう良くてね。「ブエナビスタ ソシアルクラブ」というライクーダとキューバのミュージシャンとの映画なのだけど、このキューバのミュージシャンのじいさんたち(50代～90代まで!)がまたカッコイイ。これはぜったいみてくれといった感じです。・・・と映画の話ばかりしてしまいましたが、次回の保父会は忘年会です。飲み会です。いろいろ、つもる話もあるでしょう。ぜひ参加して下さい。お願いします。詳しいことは藤原が、次のページ位で……………。

10人以上来てくれたらいいな～。盛り上がるね～。よろしく。

新住所



畠山 亘

～ 例会報告 ～

6月の例会は、幌北中央にて、外で焼き肉。旭川から2名が来てくれました。

例会は毎月開催されていますが、今回は6月の例会が、幌北中央にて、外で焼き肉。旭川から2名が来てくれました。



佐々木章人さん
わかば保育園の保父。
昭和50年生まれ。
近支所在住。

～ 生まれたよ!～

保父会のみなさんに祝ってもらった結婚からはや4年が過ぎた、6月20日AM5:17、元気な産声とともに待望の1人目が生まれました。53.3cm、3,994gの男の子です。名前は健(たける)と名付けました。どーぞよろしく。デカイだけあって、生まれたときからシワ一つなく、サルっぽくもなく、生まれたてにはとても見えない風貌でした。くわしく報告するならば、顔は二重にだんごっ鼻、おまけにへの字口でモロ嫁似。体型は手足はスラッとホソヤ似です。生まれてひと月になりますが、すでにプラス1kg位、おかげさまですくすく育っておりますヨ。生活は一変しましたね。すべて健中心。それは当たり前のことだけど、なんだか張りがでてきていいものです。家に帰って子どもの顔を見るのが楽しみですよ。ところで保父会への参加となるといつの日になるのでしょうか?今は嫁が産休中の身なので何とかなっているけれど、共働きスタートを考えるとハッキリ言っておそろしいですネ。ま、怒濤のような日々の中で気がついたら「あら、タケもう 才だ」てな感じでしょうね。とりあえず、近況報告まで

細谷和広



～ 風に吹かれて～

保父純情物

語 Vol.33

第2はとポッポ保育園

船戸 敬悦

札幌は一面の銀世界、まっしろにおおわれた手稲山や藻岩山が美しい。そして、こんなにも寒かったのかと思わせる、ひさびさの北海道の冬だった。私のススキノ通いも、パパチャリンからランニング出勤にかわっていたのだった。まっしろい息がハアハアと機関車の蒸気のように。走り込んでススキノに向かう。居酒屋でのひと仕事をはじめ、朝方、又ランニングで帰宅。冬の朝はまだまっくらで、雪明かりが美しかった。その日もバタンキューと床についたのが、午前5時を過ぎていた。そして朝方...、電話の音で起こされた。「はい、もしもし、アトリエくまのブーさんです。」とまだねむたい目をこすりながら電話にでたのだった。すると...「ああー、船戸くんか、やっと連絡がついたがなー」「えーっ、どちらさまでしょうか?」「大阪のいやー」「えーっ??」以前お世話になっていた大阪の園長からの電話におどろいていた。「今からそっちにむかうから『チトセ』でまっとうってくれ!」私は「ハイッ」と返事をして受話器をおいた。むねがドキドキしている自分を感じていた。とにかく空港にいそいでむかった。そして園長と奥さんが一緒にきてくれていたのだった。何年ぶりの再開だろうか?「どないしとったんやー、心配したでー」という言葉に私は、涙を流してうなだれてしまった。「よっしゃ、カニでも食べにいいかー」とススキノにむかった。「これからどうするんや?.....大阪には帰ってこんか?.....みんな首をなごーしてまっとうで!」私はその言葉をかみしめて聞いていた。私が、「やっぱり北海道で生きていこうとおもっています」と答えると、「そうかー、そんならここにいてみー」と一枚の名刺をいただいたのだった。「ワシの友だちじゃ、一度会ったらいい!」ということだった。その後、大阪の様子や仲間の話しを聞くにつれ、なつかしさでいっぱいになっていた。そして、こんなにも自分のことをおもってくれている園長や奥さん、そして仲間たちにただひたすら感謝の思いでいっぱいだった。そして、この日は、私にとって一生忘れられない大切な日となったのだった。



～いきなり忘年会のお知らせ～ (このタイムラグは何?)

HOPともに今年は皆さんに会う機会がなく(藤原はカゼなどで例会に出ず)皆さんさみしい所でしょう。忘年会で久しぶりに元気な姿を見せ合ひましょう。(新人も来るかも!)

場所: くいもの市場 ひっぱり多古 ススキノ店

札幌市中央区南5条西4丁目 第8ポールスタービル 2F(サンクス2F)

Tel011-531-5019

日時: 2000/12/16(土) 20:10~22:10

内容: 3,500円(飲込)

ボリューム満点(9品)!! しかも10名以上だと20%OFF

参加者は12月10日（日）まで藤原に連絡下さい。（留守電OK）

尚、不参加の方も連絡があるとうれしいです。 藤原 FAX:011-663-5431 携帯:090-1308-2601

～新連載『あさひのひとり言』Vol.3

No.007 《あさひの誕生日》

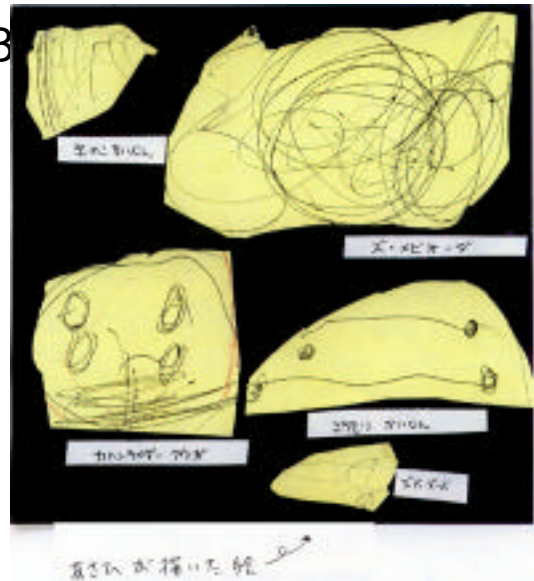
Emico キティちゃんの電報文を読む
あさひ「なんだか、こころがうれしい」

No.008 《仮面ライダークウガを見て》

未確認生命体のことを
あさひ「みかくにんせいたどう」
と、言っていた。

No.009 《ベッドの中で》

あさひ「今日はあさひクウガのゆめみる」
Emico「おかあさんは、あさひのゆめみよう」
あさひ「そんなにみんなであさひのゆめみたら
あさひのゆめなくなっちゃうでしょう」
Emico「そーなの？」
あさひ「でも、またどんどんあさひのゆめ
できてくるの」



amori